

日本セラミックス協会理工系人材育成活動助成金 活動報告書

会津ブランドものづくりフェアまちなか ろくろ体験と会津工業高等学校セラミック化学科展示 Fukushima Prefectural Aizu Technical High school Exhibition of Ceramics-chemistry course

(福島県立会津工業高等学校) 大濱 達明
(Fukushima Prefectural Aizu Technical High School) Tatsuaki Oohama

実施日	2019年10月19日	Date	October 19, 2019
実施場所	鶴ヶ城体育館	Place	Tsurugajo gymnasium
住所	福島県会津若松市	Address	Aizuwakamatsu City, Fukushima
主催	福島県立会津工業高校	Organizer	Fukushima Prefectural Aizu Technical High School

2019年10月19日(土)、20日(日)の2日間、「会津ブランドものづくりフェア～会津食と技の祭典～」が会津若松市のイベントとして行われた。本校は開催期間のうち19日に、ろくろ体験と生徒作品展示を出展した。出展に際し、日本セラミックス協会の協力をいただいた。

本イベントは、会津地域の伝統工芸品の展示や販売、ものづくり企業によるワークショップなど、見て楽しむ、また体験して楽しめるものであり、また、会津地域やゆかりの地のグルメも堪能できるイベントであり、来場者は、地元グルメを楽しみつつ会津の伝統的なものづくりや最先端のものづくりに触れることができ、子供から大人まで、好奇心を刺激されながら楽しく過ごしているようであった。本校では、ものづくり企業や高校生などによる展示・ワークショップのコーナーに出展し、主に小中学生を対象としたろくろ体験と、生徒の陶芸作品や科の取り組みを紹介する展示を行った。

ろくろ体験では、3台のろくろを使って生徒が来場者とマンツーマンで教える形で行い、主に茶碗の成形を目指した体験を行った。小中学生を対象としていたが大人の体験者も多く来られ、合計79名の方に体験していただいた。その中でも親子連れの方が多く、親子そろってろくろ体験に参加していただいた。体験された方々は、粘土の手触りや、ろくろによって次々と形を変えていく粘土に興味深げに見ている様子が見られ、また、生徒の丁寧な説明や手本により、すべての方が茶碗の形に成形することができ、満足げに体験を終えられていた。アンケートにおいても、「説明や教え方が上手」「お話をしながら体験できて楽しかった」など、好評な回答がほとんどであった。生徒たちは、幅広い年齢の方々に教えることとなったが、どんな方に対してもきちんと対応することができており、生徒のコミュニケーション能力の高さを見ることができた。

作品展示のコーナーでは、本校生徒の作品の中でも、会津や福島県の美術展で入賞・入選した作品を展示した。見ていかれる方からは、「きれいで素晴らしい作品ですね」「ユニークな形でおもしろい」「これからも頑張ってください」など、お褒めの言葉や激励の言葉をいただくことができ、生徒のモチベーションアップにつながった。

今回のイベントに参加したことで、体験や展示を見ていただいた多くの方に、会津工業高校セラミック化学科の取り組みを知っていただくことができた。また、体験を通して、地域の子供たちが本校の取り組みに興味を持ち、ひいてはものづくりへの興味関心をもつことで、将来のものづくりを担う人材育成の一つのきっかけとなったのではないかと思う。



会場風景
Scene



ろくろ体験の様子①
State of the rokuro experience①



ろくろ体験の様子②
State of the rokuro experience②



ろくろ体験の様子③
State of the rokuro experience③



作品展示コーナー①
Work display corner①



作品展示コーナー②
Work display corner②